



平成17年3月中間期 決算説明会資料



東洋水産株式会社



目次

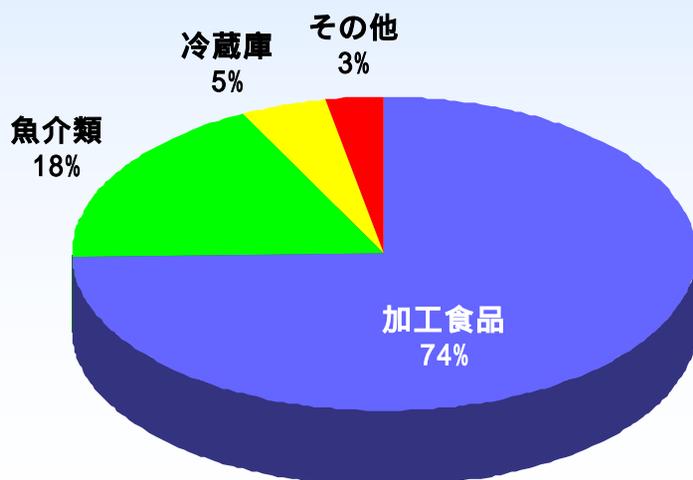
・連結決算概要	- 3 -	・工場統廃合の進捗状況(生産拠点の推移)	- 13 -
・連結損益計算書関連推移	- 4 -	・水産事業の現状	- 14 -
・単体決算概要	- 5 -	・冷蔵庫事業の現況	- 15 -
・単体損益計算書関連推移	- 6 -	・当社(冷蔵庫部門)の現況	- 16 -
・連結今期予想	- 7 -	・今後の保管能力	- 17 -
・単体今期予想	- 8 -	・株主還元について	- 18 -
・今後のセグメント別動向	- 9 -	・米国即席麺事業業績概要	- 19 -
・商品政策	- 10 -	・米国即席麺事業2004年度売上高・収支計画	- 20 -
・商品政策	- 11 -		
・物流合理化の進捗状況	- 12 -		



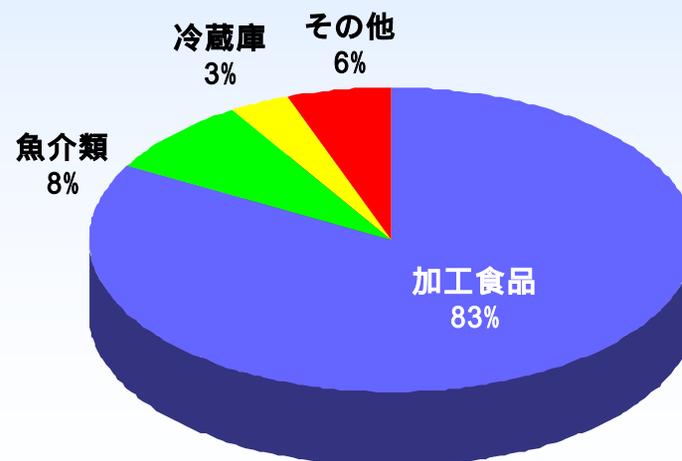
連結決算概要

- ◆ 連結売上高 147,936百万円(3.4%)
- ◆ 連結営業利益 8,710百万円(+ 0.8%)
- ◆ 連結経常利益 8,663百万円(+ 6.3%)
- ◆ 連結純利益 7,281百万円(+ 75.5%)

2004年3月期 売上高



2004年3月期 営業利益

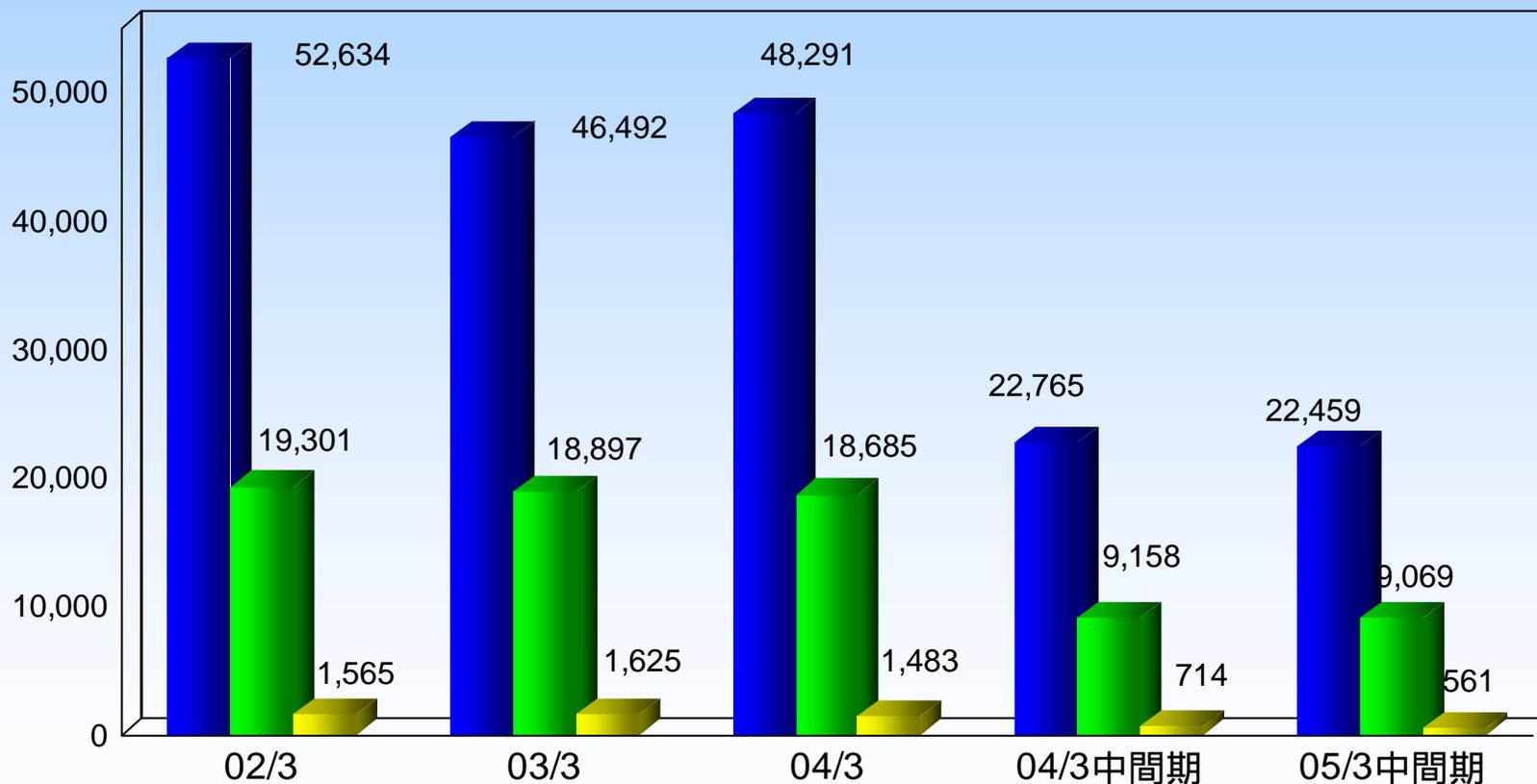




連結損益計算書関連推移

(百万円)

連結経費項目推移



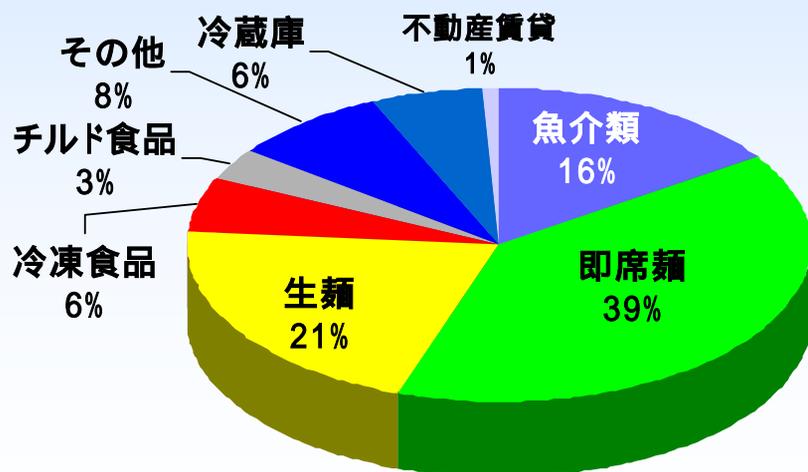
■ 販売促進費 ■ 運賃・保管料 ■ 退職給付費用



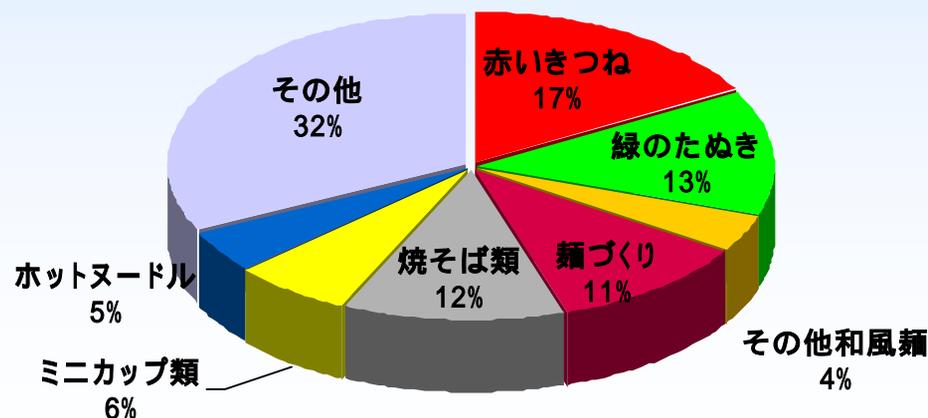
単体決算概要

- ◆ 売上高 101,582百万円(2.8%)
- ◆ 営業利益 3,393百万円(+ 1.3%)
- ◆ 経常利益 3,579百万円(7.0%)
- ◆ 純利益 3,601百万円(+ 63.5%)

2005年3月中間期 売上高



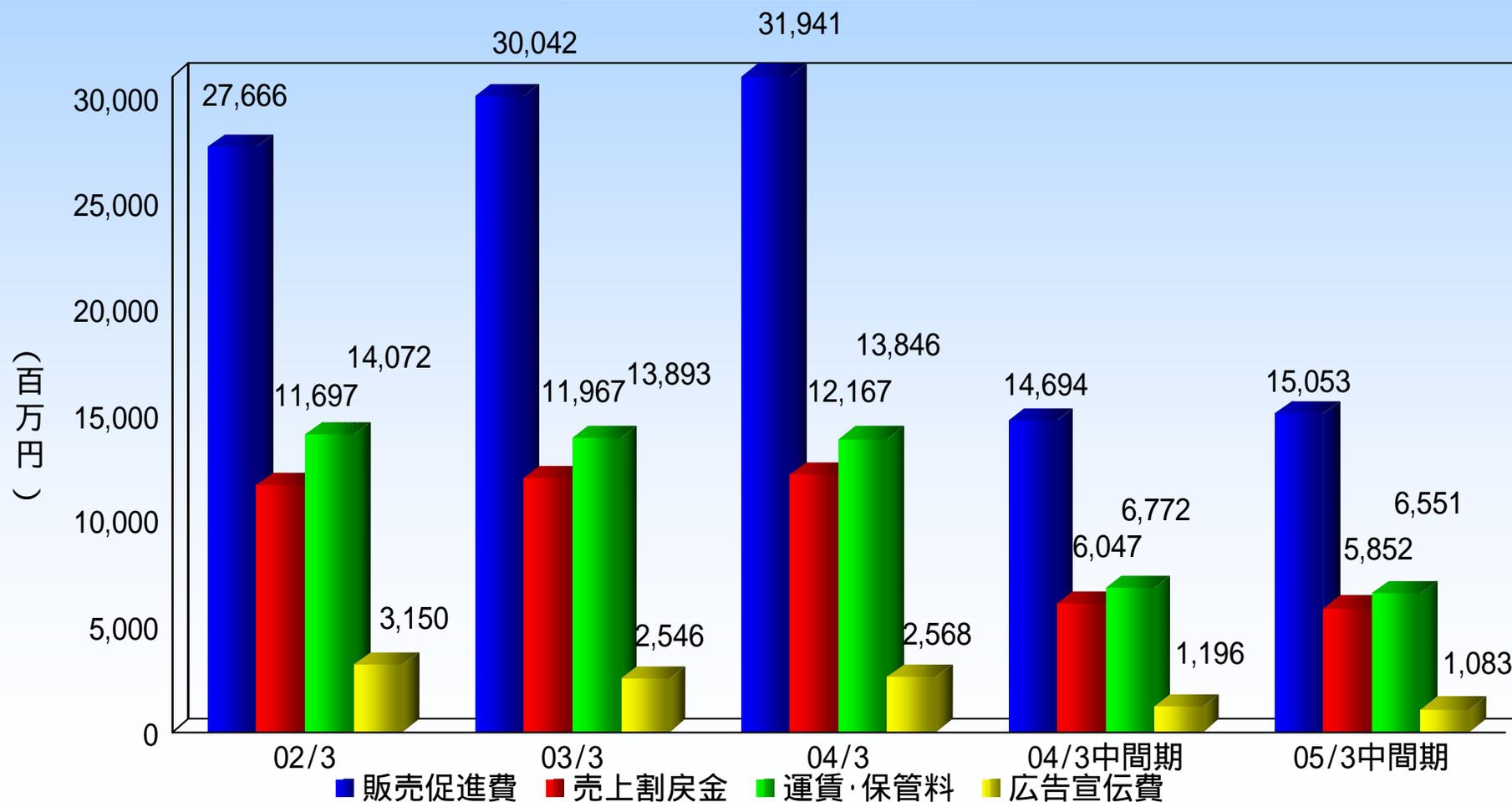
即席麺(カップ)売上高明細





単体損益計算書関連推移

単体販管費項目推移





連結今期予想

- ◆ 売上高 312,000百万円
- ◆ 営業利益 18,200百万円
- ◆ 経常利益 18,500百万円
- ◆ 当期利益 12,700百万円 (実効税率41%想定)

- ◆ (注)平成16年5月1日付で厚生年金基金の代行部分について過去分返上の認可を受けましたので、特別利益として代行返上益6,934百万円、また特別損失として遊休資産減損処理(早期適用)1,421百万円を計上しております。



単体今期予想

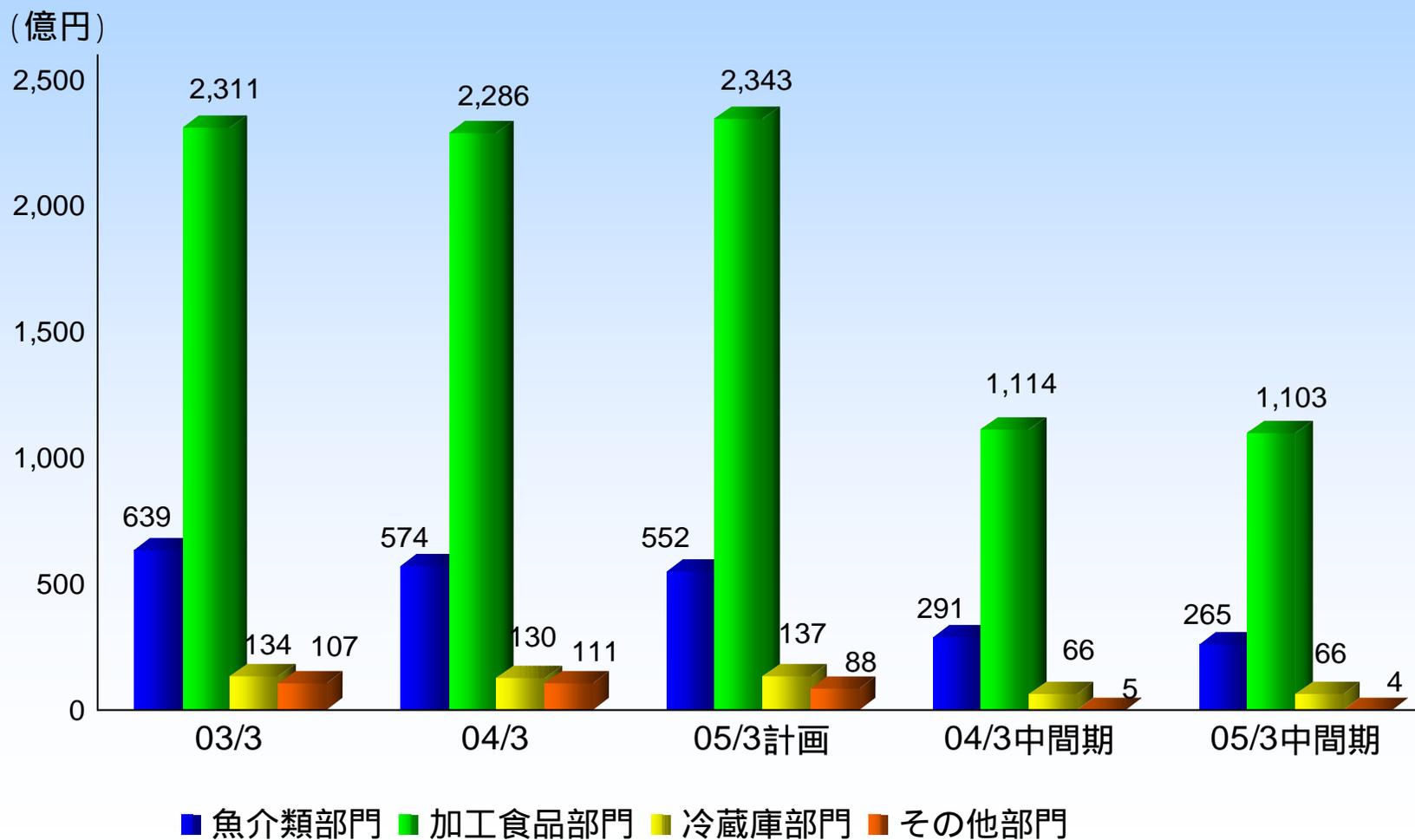
- ◆ 売上高 216,000百万円
- ◆ 営業利益 7,900百万円
- ◆ 経常利益 8,100百万円
- ◆ 当期利益 6,300百万円(実効税率42%想定)

- ◆ (注)平成16年5月1日付で厚生年金基金の代行部分について過去分返上の認可を受けましたので、特別利益として代行返上益4,691百万円 また特別損失として遊休資産減損処理(早期適用)1,990百万円を計上致しました。



今後のセグメント別動向

セグメント別売上高





商品政策

◆ 即席麺商品商品関係

和風麺等既存ブランドの強化・育成



8月順次 リニューアル実施
和風麺トータルで前年比クリア。

麺づくりの強化・育成



7月新商品およびリニューアル発売
猛暑で前年割れ、9月以降順調
CVS向け商品発売でブランド強化

高付加価値商品の発売



「匠(TAKUMI)」 新発売
ブランド構築

商品政策

◆ 生麺・チルド品関係

3食焼そば等既存ブランドの強化育成



高付加価値商品 横浜中華街「招福門」ブランドの拡充



◆ 販売促進費 高付加価値商品投入

既存品のブランドカアアップ

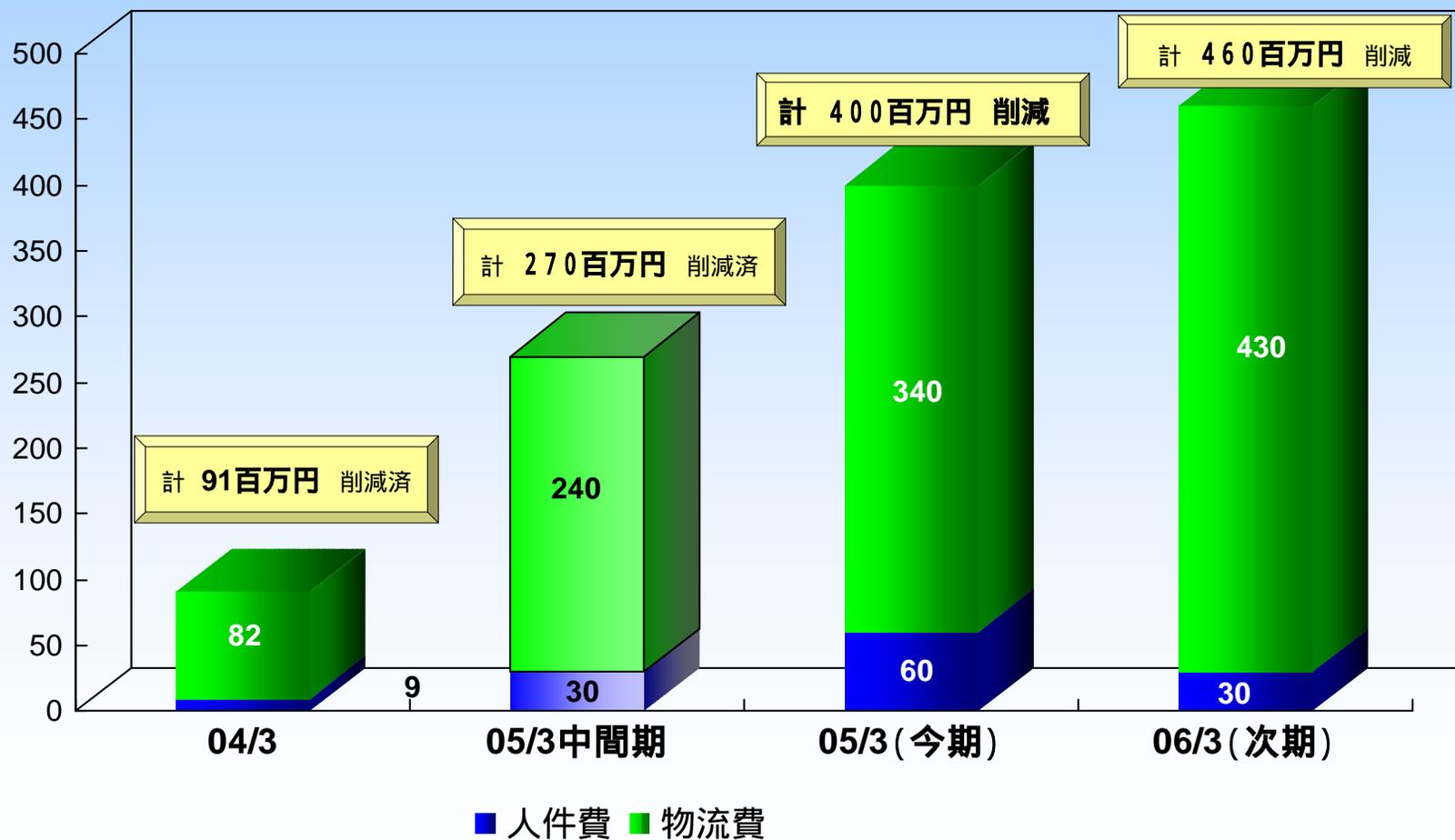
販促費率抑制



物流合理化の進捗状況

物流費削減額推移

(百万円)





工場統廃合の進捗状況(生産拠点の推移)

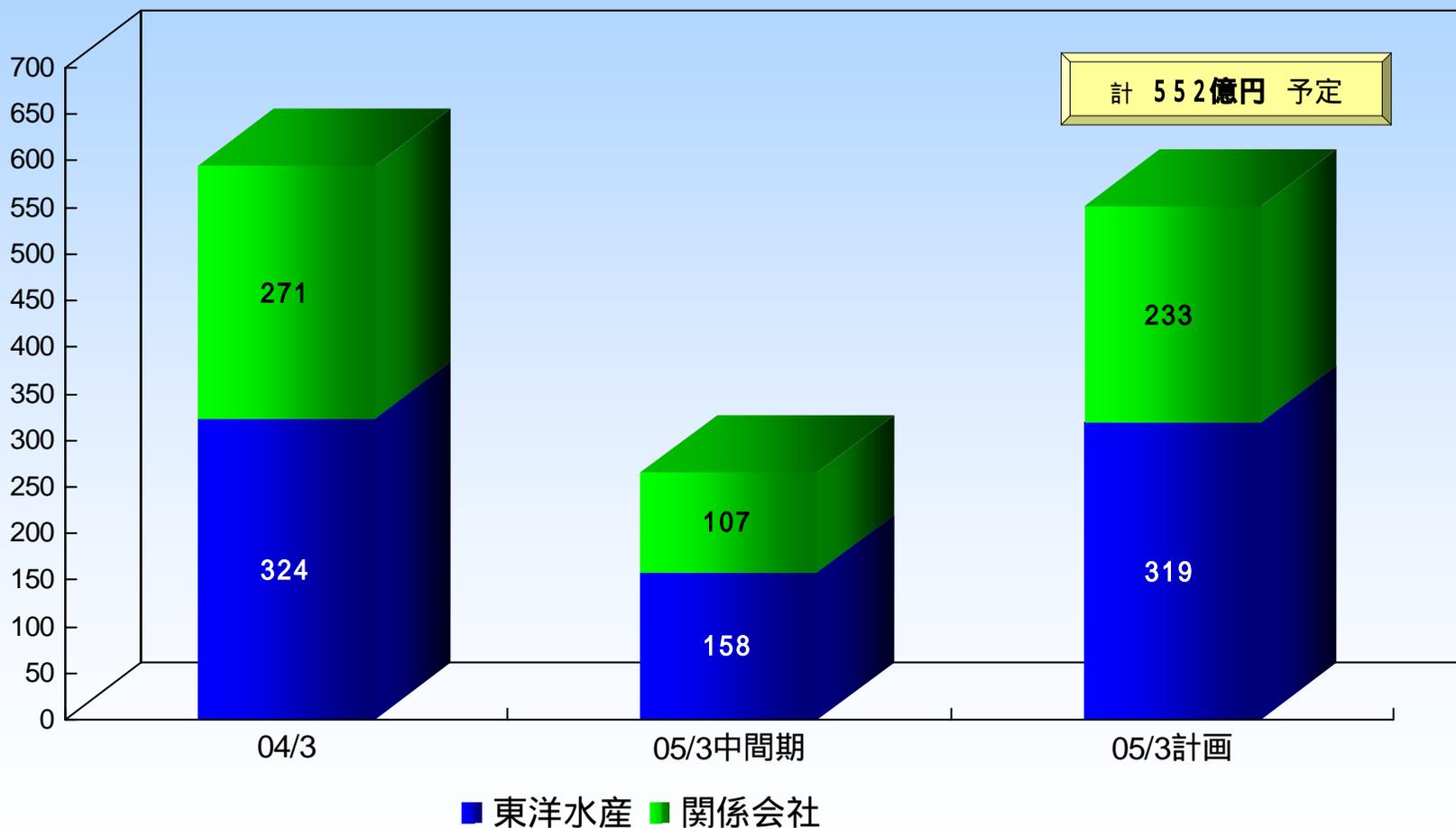
部門	01年度	02年度	03年度	04年度	計
即席麺		埼玉工場		サンリク東洋 (12月末予定) 酒悦茨城 (5月末実施済)	3
生麺	川崎工場 ソフトフーズ	+ 石狩東洋 釧路東洋	+ 神戸工場	ススキティー (6月末実施済)	2
スープ	川崎工場	神戸工場 酒悦房総			3
その他		神戸工場(米飯) 酒悦房総(冷凍麺) 釧路東洋(HS) + 石狩東洋(HS)			2
計	3	5	+ 1	3	10



水産事業の現状

売上高推移

(億円)

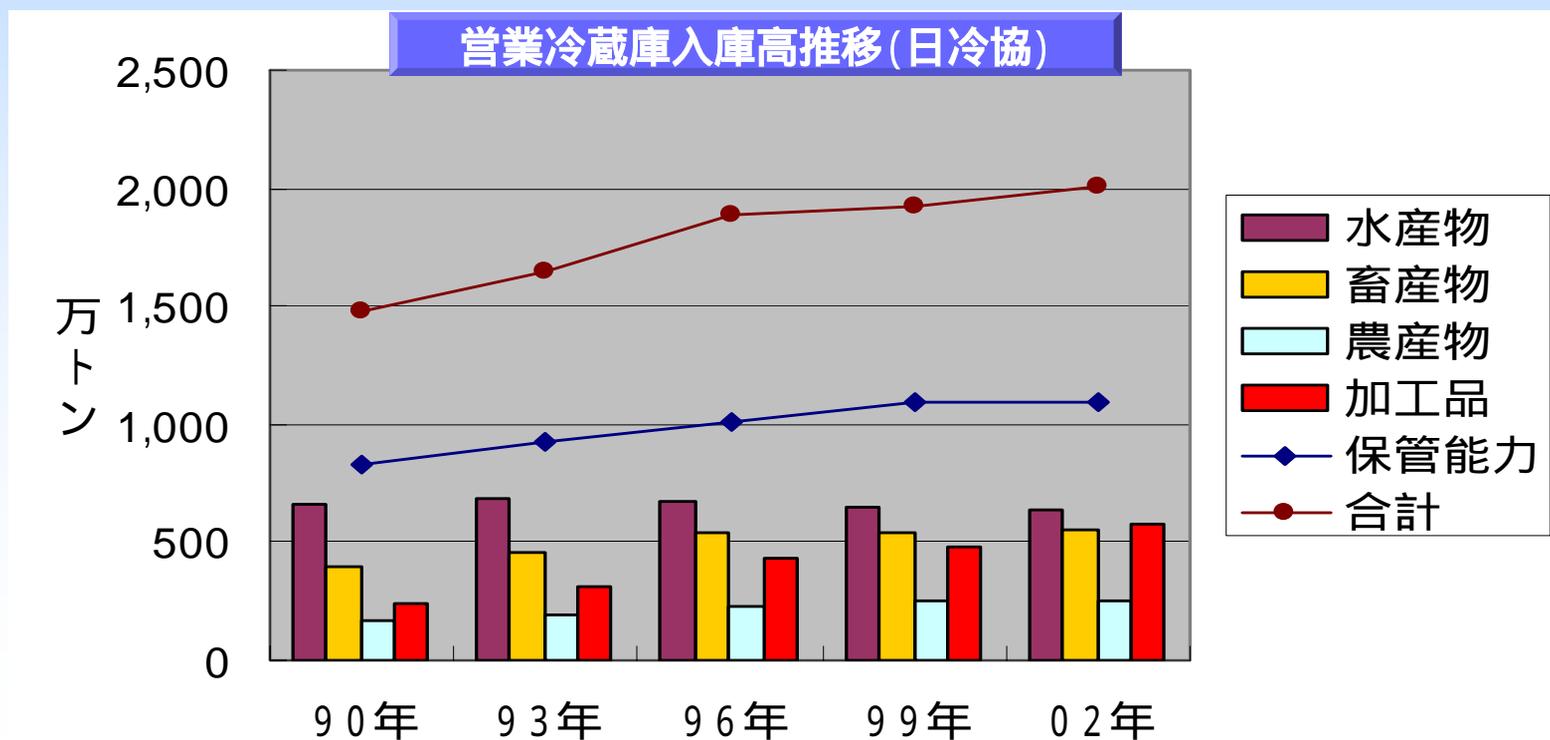




冷蔵庫事業の現況

業界の近況

BSE、鳥インフルエンザの長期化により貨物構成に変化
最終的に事業収支を圧迫





当社(冷蔵庫部門)の現況

◆ 2004年度上半期の収支実績

売上高 6,695百万円 (前年比 100.7%)

営業利益 290百万円 (前年比 77.5%)

◆ 2005年3月期 見直し年間収支計画

売上高 13,700百万円 (前年比 104.8%)

営業利益 700百万円 (前年比 90.0%)



今後の保管能力

2つの新冷蔵庫の稼働、1つの冷蔵庫を廃止

今年12月川崎市東扇島地区 2万トンの借倉稼働

来年3月 大田区大井埠頭地区2万トンの自社倉稼働

来年5月 品川区東品川地区冷蔵庫3万トン廃止

国内設備能力 45万トン 46万トン



株主様還元について

< 配当政策等 >

配当金増額について、検討中。

具体的発表については、今後の業績動向等を考慮の上公表します。



米国即席麺事業 業績概要

(単位:万ドル)

	当中間期 4/01/04 ~ 9/30/04		昨年比	前中間期 4/01/03 ~ 9/30/03	
	金額	構成比		金額	構成比
売上高 (N E T)	19,788	100.0%	101.0%	19,592	100.0%
営業利益	2,028	10.2%	101.9%	1,990	10.2%
経常利益	2,130	10.8%	102.7%	2,073	10.6%
純利益	1,202	6.1%	101.3%	1,187	6.1%



米国即席麺事業 2004年度売上高・収支計画

(単位 万ドル)

	期	金額	昨年比
売上高	上期	19,788	101.0%
	下期	22,500	100.5%
	計	42,288	100.8%
経常利益	上期	2,130	102.7%
	下期	2,370	97.9%
	計	4,500	100.1%

